

探究通信

2023 (第3号)
富山県立高岡高等学校

2023年9月発行
編集 探究科学委員

2年人文社会科学科 高志の国文学館訪問研修 - 7月19日(水) -

7月19日(水)、2年人文社会科学科は、高志の国文学館訪問研修を行いました。常設展「ふるさと文学の蔵」と企画展「絵本作家・降矢なな原画展」を観覧したのち、絵本のワークショップに参加しました。

【企画展「絵本作家・降矢なな原画展」】

絵本作家・降矢ななのデビュー作から最新の作品の原画が展示されていました。物語に込められたメッセージを最大限伝えるために、どのような工夫がされているのかを知りました。降矢さんの様々な「こだわり」を見ることが出来る貴重な機会でした。

【ワークショップ「絵本の絵を読む」】



ワークショップでの発表

ワークショップでは班に分かれて絵本を読み、本に散りばめられた工夫や作品の主題について話し合い発表しました。物語の時の流れを絵で巧みに表現したり、色使いで人物の心情を描き分けたりして、メッセージを余すことなく伝えようという作者の熱意を感じ取ることができました。一読しただけでは伝えたいことがわからない作品も班で話し合っ、より深く作品を読むことができました。自分が若い頃読んでいた絵本には、読み手を惹きつけるためにどのような工夫がされていたのかを、もう一度絵本を読んで探してみたいと思いました。



企画展についての説明を聞く

2年理数科学科 総合教育センター実習 - 7月19日(水)・21(金)-

2年理数科学科の生徒58名は、7月19日(水)と21日(金)の2日間に分かれて、富山県総合教育センターで実習を行いました。各自、物理・化学・生物・地学の4講座のなかから2講座を受講し、学校では使用できない実験機器を使って、より高度な科学実験を体験しました。

【感想】

・CDやDVDのトラックピッチを超高額な電子顕微鏡を使うことなく、千円程度の装置で少数第2位まで正確に測り取ることができた。BD*は自分たちだけでは測定できなかったが、講師の先生のアドバイスで同じように安価な装置で測定することができて、感動した。(*Blu-ray Discのこと)

・ウシガエルの解剖は大変だったが、良い経験になった。人間は哺乳類で、カエルは両生類だが、開腹して観察した内臓は、人間のつくりと同じだったことに驚いた。しかし皮膚は全く違っていった。皮膚の裏側には毛細血管が張り巡らされていて、皮膚呼吸をしているということがわかった。・一から実験方法を考えることの難しさや、工夫の仕方を学ぶことができた。また、理論と実験の組み合わせが重要なこともわかった。自分たちの課題研究に活かしていきたいと思った。



物理班：CDのトラックピッチの測定



生物班：ウシガエルの体重測定

～編集後記～ 立山実習は、1年生にとって初めての大規模な探究活動で、とても学びが多いものとなりました。(1年探究科学委員) 普段の授業では深く扱われないような物事に触れ、新たな知見を得る良い機会となりました。(2年探究科学委員)

1年探究科学科 「立山実習」 - 7月27日(木) -

7月27日(木)、1年探究科学科は、生物・地学・歴史・地理の各班に分かれ、立山実習を行いました。班ごとの活動報告を行います。

生物班



美女平を散策し、植物の観察を行った。

生物班では、アルペンルート沿いの植生を調査し自生する植物の特徴を学んだ。美女平、室堂、弥陀ヶ原で植物の観察、樹高測定を行った。
【感想】 道沿いの木が枯れていたりガキ田の水がなくなったりして、立山の植物も人の活動に影響を受けていることが分かった。

地学班



大転石を測量する方法を考えているところ。

地学班では、気圧の測定、室堂付近の岩石の観察や氷河地形の観察、大転石の測量などを行った。また、立山カルデラ観察のため室堂山にも登った。
【感想】「安政の大転石」は測量が難しいほど大きく、重さを計算することで、被害が甚大であったことを実感できた。

歴史班



日本最古の山小屋「室堂小屋」を見学。

歴史班は、立山信仰の面から立山の歴史を学んだ。立山博物館で立山信仰について学び、信仰の舞台となった室堂を訪れた。
【感想】立山は、「地獄の山」として長い間人々に信仰されていたことを知った。現代では立山信仰は薄れたが、美しい自然が親しまれていることが分かった。

地理班



有峰ダムの直下で、水力発電についての説明を受けた。

地理班では、エネルギーのベストミックスに着目し、火力・太陽光・水力発電所、有峰ダムを見学し、発電の概要や効率について学んだ。
【感想】各発電所を見学し、それぞれの発電の特徴について知った。そこから、これからの日本のエネルギー供給について考えることができた。